J8991
初版
2014年5月

ノートパソコン

Chromebookユーザーマニュアル

IN SEARCH OF INCREDIBLE

COPYRIGHTについて

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証も行いません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害 (利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む) に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、内容は予告なしに 変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容についてASUSは責任を負いません。

Copyright © 2014 ASUSTeK Computer, Inc. All Rights Reserved.

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害 (死亡したケースを含む) と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作為または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

(1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
(2) ユーザーの個人情報やデータの損失
(3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または 貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

マルチ言語サポートサイトを開設しました。英語で表示される場合は「Japan/日本語」を選択してください。
http://www.asus.com/support

もくじ

本マニュアルについて 6
このマニュアルの表記について 7
表記 7
安全上の注意 8
ノートパソコンを使用する 8
ノートパソコンのお手入れ 9
廃棄・リサイクルについて 10

Chapter 1: ハードウェアのセットアップ

製品の概要 12
前面 12
底面 15
右側 16
左側 17

Chapter 2: ノートパソコンを使用する

使用の手引き 22
ノートパソコンの充電 22
ディスプレイパネルを持ち上げる 24
電源ボタンを押す 24
タッチパッドの操作 25
ポインターの移動 25
指1本での操作 26
指2本での操作 27
指3本での操作 28
キーボードを使用する 29

Chapter 3: Chrome™ OSを使用する

初めて使用する 32
ログインエリア 33
ゲストとしてブラウジング 33
ユーザーアカウント 34

デスクトップを使用する 35
アプリ リスト 35
ステータス領域 37
インターネットへの接続 40
Wi-Fi接続を有効にする 40
新しいWi-Fiネットワーク接続への切り替え 40
ネットワーク接続の追加 41
Google Chrome 43
文書の印刷 45
PDFファイルを保存する 45
Google クラウド プリント 47
ファイルを管理する 52
ファイル アプリ 52
Google ドライブ 56
ノートパソコンのリセット 60
Powerwashを使用する 60
ノートパソコンの電源をオフにする 62
Chrome™ OSを使用する 62
本機の電源ボタンを使用する 62
ノートパソコンをスリープ状態にする 62

Chapter 4: FAQとヒント

安全に使用するためのヒント 64
ハードウェアに関するFAQ 65
ソフトウェアに関するFAQ 67

Chapter 5: 付録

内蔵モデムの適応規格（規格/プロトコルなど原文掲載） 70
Overview 70
Network Compatibility Declaration 71
Non-Voice Equipment 71
Federal Communications Commission Interference Statement 73
FCC Radio Frequency (RF) Exposure Caution Statement 74
Declaration of Conformity (R&TTE directive 1999/5/EC) 75

CE Marking....75
IC Radiation Exposure Statement for Canada....76
UL Safety Notices....80
Power Safety Requirement....80
TV Notices....81
REACH....81
Macrovision Corporation Product Notice....81
日本国内での無線周波数帯のご利用について....81
聴覚障害を防ぐため....81
筐体のコーティングについて....81
Nordic Lithium Cautions (for lithium-ion batteries)....82
CTR 21 Approval (for Notebook PC with built-in Modem)....83
ENERGY STAR complied product....85
Optical Drive Safety Information....86
CDRH Regulations....86
回収とリサイクルについて....87
電気・電子機器に含有される化学物質の表示について....87
Rechargeable Battery Recycling Service in North America....88
Regional notice for Singapore....88
Regional notice for India....88
Notices for removeable batteries....88
Avis concernant les batteries remplaçables....88

本マニュアルについて

このマニュアルには本機のハードウェアとソフトウェアについての説明が記載されており、以下のChapterから構成されています。

Chapter 1: ハードウェアのセットアップ

本機のハードウェアとコンポーネントについての説明が記載されています。

Chapter 2: ノートパソコンを使用する

本機の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 3: Chrome™ OSを使用する

本機でのChrome™ の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 4: FAQとヒント

よくある質問とその回答・ヒントが記載されています。

Chapter 5: 付録

製品の規格や海外の法令についての説明が記載されています。

注: 本書で使用されている名称は正式なものではない可能性があります。

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱いいただくため、以下の表記をご参照ください。

重要: 作業を完了するために従わなければならない事項です。

注: 作業を完了するためのヒント等の追加情報です。

警告: 作業を行う際、人体への危険を避けるため、または本機のコンポーネントへの損害、本機内のデータの消失を避けるために、必ず従わなければならない事項です。

表記

太字 = 選択するメニューや項目を表示します。

<> = 操作のために押す、キーボード上のキーです。

安全上の注意

ノートパソコンを使用する

本機は5～35℃の周辺温度でご使用ください。

入力定格は本機の底部に記載があります。ACアダプターが対応していることを確認してください。

本機の使用中は底面が熱くなります。ひざの上など人体に長時間接触させて使用すると火傷を負う恐れがあります。

破損した電源コード、アクセサリーまたはその他の周辺機器をご使用にならないでください。

電源がONのまま本機を持ち運ばないでください。またキャリーバッグに入れたり、カバーをしたりしないでください。通気が悪くなり故障の原因となります。

本機を平らでない、不安定な場所に置かないでください。

本機をX線装置（ベルトコンベアー）に通すことは問題ありませんが、磁気センサーや磁気ワンドはお避けください。

多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。航空機内での本機の使用については、各航空会社にお問い合わせください。

ノートパソコンのお手入れ

本機のお手入れの際は、電源を切りACアダプターとバッテリーパックが取り外し可能なモデルであればバッテリーパックも取り外してください。清潔なスポンジまたは柔らかい布に研磨材の含まれていない洗剤を温水で薄めたものを数滴含ませ、汚れを拭き取ってください。最後に乾いた布を使って余分な水分を完全に取り除いてください。

本体のお手入れに、シンナー・ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。

本機の上に物を置かないでください。

本機に強い磁気を近づけないでください。

液体・雨・湿気を避けてください。

本機をホコリや汚れの多い環境下に置かないでください。

本機をガス漏れの恐れがある場所で使用しないでください。

廃棄・リサイクルについて

本機やバッテリー (該当する場合) を一般廃棄物として廃棄しないでください。本製品のコンポーネントの中にはリサイクルできるよう設計されているものがあります。なお、本製品は水銀ボタン電池を含む電子機器です。本製品を一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

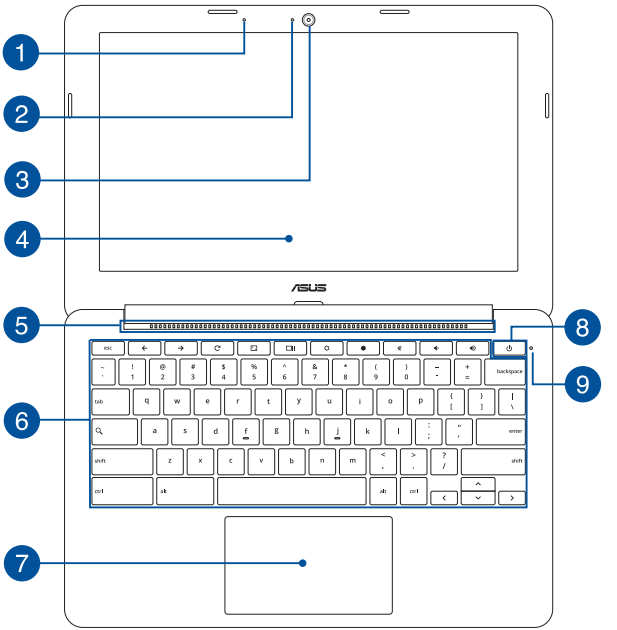
バッテリーを一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

Chapter 1:
ハードウェアのセットアップ

製品の概要

前面

注: キーボードのレイアウトはお買い上げの国や地域により異なります。モデルによってノートパソコンの外観は異なります。



1 マイク

ビデオ会議や、ナレーション、オーディオの録音、マルチメディアアプリケーション等にご利用ください。

2 カメラインジケーター

内蔵型カメラの使用時に点灯します。

3 カメラ

内蔵カメラにより、画像の撮影と動画の録画ができます。

4 ディスプレイパネル

本製品のディスプレイパネルは画像や動画、その他マルチメディアファイルの参照に卓越した視認性を発揮します。

5 通気孔

通気孔により本体から熱を逃がします。

警告: 通気孔からは高温の空気が排気されます。故障や事故の原因となりますので、人体、紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔は絶対に塞がないでください。

6 キーボード

クウォーティー（QWERTY）配列のキーボードには十分なストロークを持たせてあり、パームレストが付いているため快適な操作が可能です。

注: キーボードのレイアウトはお買い上げの地域により異なります。

7 タッチパッド

指先を使用して、カーソルを移動したり画面に表示された項目を選択することができます。タッチパッドはマウスと同等の機能を提供するポインティングデバイスです。

注: 詳細は「タッチパッドを使用する」をご参照ください。

8 電源ボタン

このボタンで電源のONやログイン画面へのアクセス、シャットダウンなどが行えます。

9 電源インジケーター

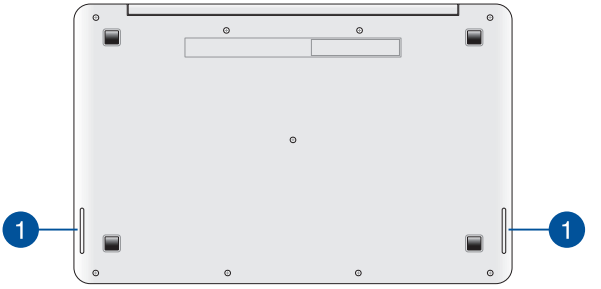
点灯時は本機の電源はON、点滅時は本機はスリープモードに入っています。

底面

注: モデルによって底面の外観は異なります。

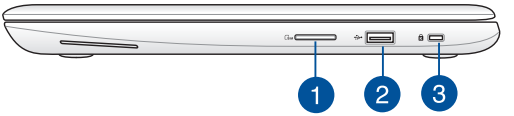
警告: 本機の底面は使用中、または充電中に高温になることがあります。本機の使用中は通気孔を塞がないようにしてください。

重要: バッテリー駆動時間はコンピューターの使用方法、仕様により異なります。バッテリーパックは分解できません。



1 **オーディオスピーカー**
本機搭載のスピーカーにより、サウンドをご確認いただけます。

右側



1 SIMカードスロット (オプション)

SIMトレイを1度押してトレイを取り出し、SIMをスロットへ挿入してください。

2 USB 2.0ポート

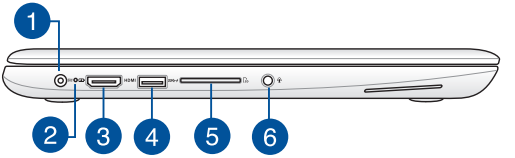
USBポートはUSB2.0とUSB1.1の互換仕様となっています。

3 Kensington® セキュリティスロット

Kensington®互換ノートパソコンセキュリティ製品と併用して、本機を固定することができます。

*特定モデルのみ

左側



1 電源入力ポート

付属のACアダプターを接続し、本機に電力を供給しバッテリーパックを充電します。

警告: ACアダプターは使用中高温になることがあります。使用中は、物などで覆ったり人体に接触させたりしないでください。

重要: 本製品付属のACアダプター以外で本機に電力を供給しないでください。また、付属のACアダプターと電源コードを他の製品に使用しないでください。故障の原因となります。

2 バッテリーインジケーター

色でバッテリーの充電状況を表示します。表示内容は次のとおりです。

色	状態
グリーン	ACアダプターが本機に接続された状態で、バッテリーの充電レベルは95%から100%です。
オレンジ	ACアダプターが本機に接続され充電を行っている状態で、バッテリーの充電レベルは95%から92%未満です。
オレンジ点滅	ACアダプターが本機に接続されていない状態で、バッテリーの充電レベルは10%未満です。
点灯しない	ACアダプターが本機に接続されていない状態で、バッテリーの充電レベルは10%から100%です。

3 HDMI ポート

HDMI対応デバイスをHDMIポートに接続します。

4 **USB 3.0ポート（USB Charger+兼用）**

このUSB 3.0ポートは、最大5 Gbpsのデータ転送速度を提供し、USB 2.0に下位互換性があります。⚡アイコンの表示が特定モデルではあり、その場合は、こちらのUSBポートはUSB Charger+機能に対応しています。

5 **メモリーカードリーダー**

内蔵のカードリーダーはMMC/SDカードをサポートしています。

6 **ヘッドホン出力&マイク入力コンボジャック**

本機のオーディオ出力信号をアンプスピーカーやヘッドホンに接続します。また、特定モデルでは4極ミニプラグをサポートしています。

Chapter 2:
ノートパソコンを使用する

使用の手引き

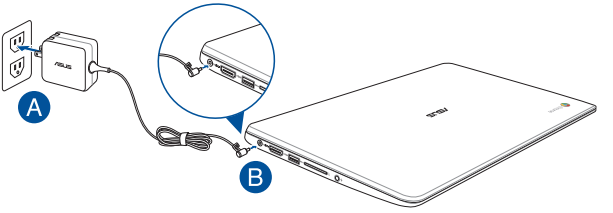
ノートパソコンの充電

A. ACアダプターを100V～240Vの電源に接続します。

B. 電源コネクターをノートパソコンの電源入力ポートに接続します。

初めてバッテリー電源で本機を使用する際は、3時間程度充電してください。

注: モデルによってACアダプターの外観は異なります。



重要:

ACアダプターについて

- 入力電圧: 100-240V
- 入力周波数: 50-60Hz
- 定格出力電流: 1.75A (33W)
- 定格出力電圧: 19V

重要:

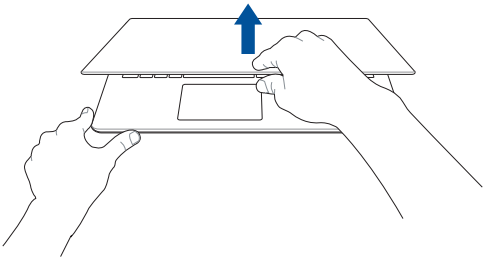
- 入出力定格は製品本体に記載があります。ACアダプターが対応していることをご確認ください。モデルによっては、定格出力電流が複数設定されている場合があります。
- 本機の電源を初めてONにするときは、電源アダプターが本機に接続されていることをご確認ください。本機を電源アダプターに接続しているときは、壁面などの固定電源コンセントの電源の使用をお勧めします。
- 本機を電源アダプターに接続しているときは、電源コンセントや電源タップの近くでご使用ください。
- 主電源から本機を切断するには、電源コンセントから本機の電源コードを抜いてください。

警告:

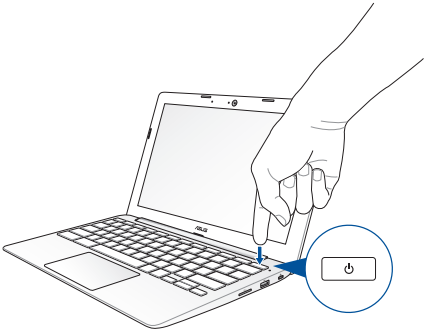
本機のバッテリーに関する警告事項をよくお読みください。

- 本機内蔵のバッテリーの取り外しはASUS公認の技術員のみ対応することができます。
- 本機内蔵のバッテリーをお客様ご自身で取り外した、または分解した場合、火事または化学火傷の危険性があります。
- 取り扱いの際は警告ラベルの指示に従ってください。
- ASUS指定以外もしくは本機付属以外のバッテリーに交換した場合、破裂、発火、発熱のおそれがあります。
- バッテリーを火中へ投下する、火気へ近づける、加熱する、高温状態で放置するなどしないでください。
- バッテリーの回路をショートさせないでください。
- バッテリーを分解または改造しないでください。
- 変形、変色、割れ、サビ、液漏れや異臭、異音などを起こしたバッテリーは直ちにその使用を中止してください。
- バッテリーは地域の条例等の指示に従ってリサイクル・処理してください。
- バッテリーおよびその他の部品は、子供の手に届かない場所に保管してください。

ディスプレイパネルを持ち上げる



電源ボタンを押す



タッチパッドの操作

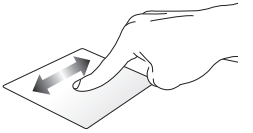
プログラムの起動、ノートパソコンの各種設定を行います。タッチパッドの操作方法は次のイラストと説明をご参照ください。

注: ご使用のアプリによっては、以下で紹介する操作に対応していない場合があります。

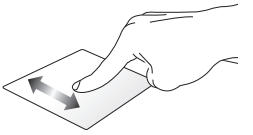
ポインターの移動

タッチパッド上をクリックまたはタップした後でそのまま指をスライドすると、画面上のポインターを移動することができます。

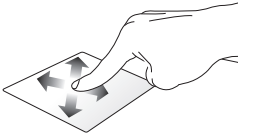
水平にスライド



垂直にスライド

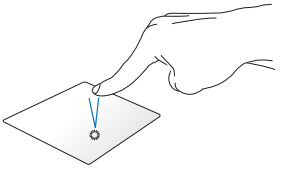


対角線上にスライド



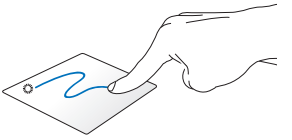
指1本での操作

クリック/タップ



タッチパッド上をクリック/タップすると、アプリやプログラムが起動します。

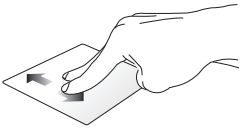
ドラッグ&ドロップ



アクティブな画面をクリックし、そのままスライドします。指先をタッチパッドから離すと、ドロップされます。

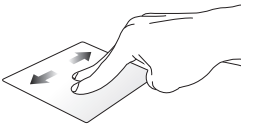
指2本での操作

指2本でのスクロール（上下）



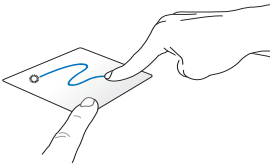
指2本を上下になぞると、ウインドウが上下にスクロールします。

指2本でのスクロール（左右）



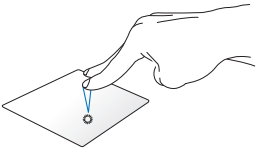
- 指2本で左右になぞると、ウインドウが左右にスクロールします。
- ウェブページを参照中、すばやく左または右方向に2本の指をなぞると、アクセスしたことがあるウェブページに移動したり戻ったりすることができます。

ドラッグ&ドロップ



1本の指で項目をクリックし、もう1本の指でタッチパッドを目的の方向にスライドすると、項目を別の場所に移動することができます。

2本指でクリック/タップ



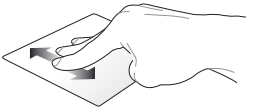
指2本をタッチパッド上でタップ/クリックすると、マウスの右クリックと同じ操作を行うことができます。

指3本での操作

右/左方向になぞる

ウェブブラウザーで複数のタブを開いている場合、3本の指を左また右方向になぞると、これらのタブが切り替わります。

下方向になぞる



下方向になぞると、現在Chrome™上で開かれているすべての画面の概要が表示されます。

注: モデルにより操作方法が異なる場合があります。また、機能のご利用に設定が必要な場合があります。

キーボードを使用する

本機のキーボードには、ウェブを簡単に効率良く閲覧するための特別な機能がいくつかあります。

前のページに戻ります。

次のページに移動します。

現在のウェブページを再ロードします。

現在開いている画面のフルスクリーンモード (タブとランチャーが非表示のモード) が有効になります。

次のウィンドウに切り替わります。

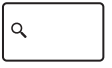
ディスプレイの明るさを下げます。

ディスプレイの明るさを上げます。

スピーカーの音量がオフになります。

スピーカーのボリュームが下がります。

スピーカーのボリュームが上がります。



検索ボックスがアクティブになります。

Chapter 3:
Chrome™ OSを使用する

初めて使用する

コンピューターを初めて使用するときは、Chrome™ OSの基本設定を行う設定画面が表示されます。

設定手順

1. パソコンの電源ボタンを押します。設定画面が表示されるので、暫くお待ちください。
2. 設定画面から、以下の項目の横にあるドロップダウンボタンからオプションを選択します。
   - **Select your language (言語の選択)**
     Japanese - <日本語>を選択すると画面表示が英語から日本語に切り替わります。
   - **Select your keyboard (キーボードの選択)**
     <日本語>を選択します。
   - **Select a network (ネットワークを選択)**
     表示される一覧から接続するネットワークを選択します。

   終了したら、「**続行**」をクリックします。
3. 「**Google Chrome OS 規約**」をよく読み内容を確認し、「**同意して続行**」を選択します。
4. 表示されるログイン画面で、Googleアカウントのメールとパスワードを入力します。Googleアカウントを持っていない場合は、「**Google アカウントを作成**」上をクリックして作成することができます。

   このログインの設定をスキップしたい場合は、「**ゲストとしてブラウジング**」をクリックすることができます。
5. セットアップが完了すると、Google Chrome OSが起動し、Chrome™環境で作業を開始することができます。

ログインエリア

本機の電源を入れた後、ログイン画面が表示されます。オプションのいずれかを選択してChrome™ OSを使用することができます。

> **重要:** ログインのオプションを選択する前に、インターネットに接続していることをご確認ください。

ゲストとしてブラウジング

ネットサーフィンを楽しむだけが目的の場合、または他のユーザーが本機を使用できるようにする場合は、このオプションをお勧めします。ゲストとしてサインアウトした場合は、ダウンロードしたファイルやブラウザー履歴、Cookieは保存されません。

ユーザーアカウント

Chrome™ OSのアプリやプログラムを使用することができ、ダウンロードしたファイルやアプリ、ブラウザーの履歴をユーザーアカウントに保存することができます。

ユーザーアカウントへログインする

使用したいユーザーアカウントを選択し、パスワードを「**パスワードを入力**」に入力します。

ユーザアカウントを追加する

新しいユーザーアカウントを追加する場合は、次の手順を参照してください。

1. ログインエリアの下にある「**ユーザーを追加**」をクリックします。
2. 表示される画面でユーザーアカウントとして追加したいメールとパスワードを入力します。メールアカウントはGmailのアカウントである必要があります。新しいGoogleアカウントを追加するには、「**Google アカウントを作成**」のリンクをクリックします。
3. 「**ログイン**」をクリックします。

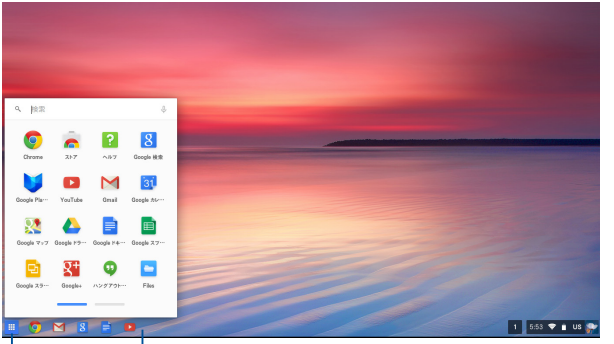
デスクトップを使用する

アプリ リスト

自分のユーザーアカウントでログインした後にアクセス可能なアプリを起動し、本機での作業を開始しましょう。これらのアプリでは、本機の機能を最大限に活用し、様々な機能を利用することができます。

アプリのリストを起動するには、ランチャーの をクリックします。

注: ゲストでログインした場合は、ランチャーに表示されるアイコンに制限があります。



ランチャーにアプリを追加する

手順

1. をクリックします。
2. ランチャーに追加したいアプリを2本指でタップし、「**シェルフに固定**」を選択します。

ランチャーからアプリを削除する

手順

1. 削除したいアプリを2本指でタップします。
2. 「**固定を解除**」を選択します。

アプリの設定

起動後のアプリの表示を設定する

1. 設定したいアプリを2本指でタップします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します。
   - **通常のタブとして開く:** 通常のタブとして表示されます。
   - **固定されたタブとして開く:** ピン止めされたタブとして表示されます。
   - **ウィンドウとして開く:** ウィンドウとして表示されます。
   - **最大化して開く:** 最大化されて表示されます。

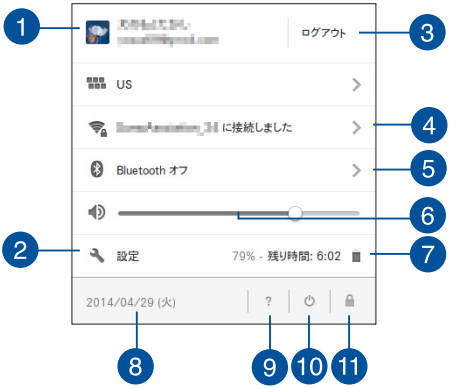
ステータス領域

ステータス領域にはGoogleユーザーアカウント情報の概要が表示されます。また、本機と現在のユーザーアカウントの設定を変更することができます。

ステータス領域の起動

ステータス領域を起動するには、デスクトップ画面の右下にあるステータス領域ボックスの任意の場所をクリックします。

ステータス領域



1 ユーザーアカウント

現在使用しているGoogleのユーザーアカウントです。

2 設定

このオプションをクリックすると、Chrome™ OSの設定が開きます。

3 ログアウト

このオプションをクリックすると、現在のユーザーアカウントからログアウトすることができます。

4 ネットワーク

このオプションをクリックすると、現在のネットワーク接続、使用可能なネットワーク接続、およびネットワーク設定が表示されます。

5 Bluetooth

このオプションをクリックすると、Bluetooth機能の有効/無効の設定、他のBluetoothデバイスの管理が行えます。

6 **オーディオ設定**

音量スライダーを左/右にドラッグし、本機の音量を調整することができます。

7 **バッテリー残量**

本機の現在のバッテリー残量が表示されます。また、バッテリー残量がなくなるまでの時間、フル充電されるまでの時間も表示されます。

8 **日時**

このオプションをクリックすると、タイムゾーンの設定ができます。

9 **Chromebookヘルプ**

このオプションをクリックすると、Chromebookのヘルプセンターにアクセスすることができます。

10 **Shut down (シャットダウン)**

このオプションをクリックすると、現在のログインセッションからサインアウトし、本機の電源を切ることができます。

11 **ロック**

このオプションをクリックすると、現在のセッションをロックしログインエリアに戻ることができます。

インターネットへの接続

本機でChrome™ OSを使用するためには、インターネット接続が必要です。Wi-Fi接続を使用して、ワイヤレス環境でインターネットに接続します。

Wi-Fi接続を有効にする

手順

1. ステータス領域を起動します。
2. 「**ネットワーク接続なし**」→「**Wi-Fiをオンにしています**」を選択します。

新しいWi-Fiネットワーク接続への切り替え

デフォルト設定では、本機は初めて使用したときに行ったセットアップで選択したWi-Fiネットワークを使用するように設定されています。新しいネットワーク接続を選択する必要がある場合は、以下の手順を参照してください。

1. ステータス領域を起動します。
2. 現在のWi-Fiネットワーク接続を選択します。
3. ネットワークの現在のリストから新しいWi-Fiネットワーク接続を選択し、必要に応じてパスワードを入力します。

ネットワーク接続の追加

ネットワークのリストに新しいネットワーク接続を追加する

1. ステータス領域を起動します。
2. 「**設定**」をクリックします
3. 「**インターネット接続**」から「**接続を追加**」を選択します。

4. 「**Wi-Fiを追加**」を選択します。または「**プライベートネットワークを追加**」を選択し、新しいネットワーク接続のセットアップに必要な詳細情報を入力します。

5. 「**接続**」をクリックし、新しいネットワーク接続でインターネットに接続します。

Google Chrome

ウェブブラウザーのGoogle Chromeは、オンライン接続するための主なツールです。インターネットを楽しむ以外にも、Chrome™OS上で起動したアプリケーションのほとんどを表示します。

Chromeを起動するにはランチャーの をクリックします。

Google Chrome

1 前/次のページアイコン

これらのアイコンを押すと、前のページ/次のページに移動することができます。

2 再読み込み

表示しているページを再読み込みできます。

3 **タブ**

Google Chrome上で複数のサイトやアプリケーションを起動することができます。

4 **閉じる**

このオプションをクリックすると、現在のタブが閉じます。

5 **新しいタブ**

このオプションをクリックすると、Google Chromeで新しいタブが起動します。

6 **アドレスバー**

アドレスバーには表示しているタブの現在のファイルパスまたはウェブサイトのアドレスが表示されます。検索ワードを下に入力し、 enter を押しウェブ検索することもできます .

7 **ブックマーク**

クリックすると、表示しているウェブページがブックマークに追加されます。

8 **最大化/最小化**

Google Chromeを最大化または最小化します。

9 **閉じる**

このボタンをクリックすると、Google Chromeが閉じます。

10 **設定**

クリックすると、Google Chromeの設定をカスタマイズすることができます。

11 **スクロールバー**

このバーを上下に動かし、ウェブページを上下にスクロールします。

文書の印刷

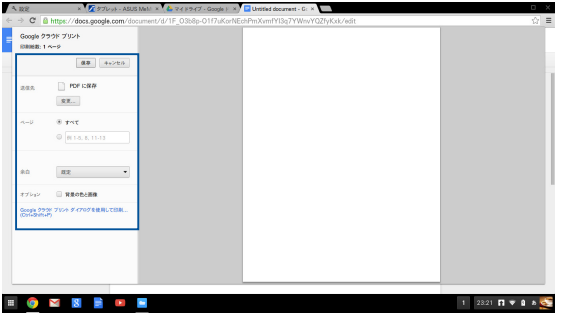
Chrome™OSの印刷機能では、Google クラウドプリントを使用してハードコピーを作成する、またはPDF形式でファイルを保存することができます。

PDFファイルを保存する

手順

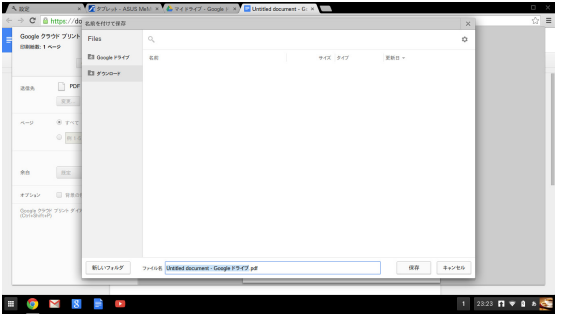
1. 印刷するファイルを開き ctrl + P を押します。

2. 画面の左側で、ページ数やレイアウトなど、変更したい設定を選択します。



3. 終了したら、「**保存**」をクリックします。

4. 次に表示される画面で、PDFファイルとしてファイルを保存する場所を選択し、ファイル名を「**ファイル名**」に入力します。



5. 「**保存**」をクリックし、PDFファイルを作成したら、ウィンドを閉じます。

Google クラウド プリント

本機からファイルを印刷する場合は、Google クラウドプリント機能で印刷することができます。Google クラウドプリントではクラウド対応のプリンタを使用してクラウド環境で印刷を行います。

使用方法は、本マニュアル以降の記載をご参照ください。

クラウド対応のプリンタを使用する

お使いのプリンタがGoogle クラウドプリントをサポートしている場合は、そのプリンタのユーザーマニュアルをご参照ください。

プリンタの互換性は次のURLで確認することができます。
http://www.google.com/cloudprint/learn

注: お使いのプリンタがリスト内にない場合は、本マニュアルの「Google クラウドプリントに従来のプリンタを接続する」をご参照ください。

Google クラウドプリントに従来のプリンタを接続する

従来のプリンタは、自動的にGoogle クラウドプリントをはサポートしないため、Googleで使用するには設定を手動で行う必要があります

本機で従来のプリンタを使用するには、互換性のあるWindows®コンピューターを通じてプリンタを Google クラウドプリントに接続する必要があります

重要:

- お使いのコンピュータにWindows®XP以降のOSがインストールされていることを確認してください Windows® XPをご使用の際は、Windows XP Service Pack 3がインストールされていることを確認してください
- プリンタをGoogle クラウドプリントに接続する前に、互換性のあるWindows® コンピューターにプリンタをインストールする必要があります
- コンピューターにはGoogle Chromeがインストールされていることを確認してください。

従来のプリンタをGoogle クラウドプリントに接続する

1. 使用したいプリンタをコンピューターに接続し、両方の電源を入れます。

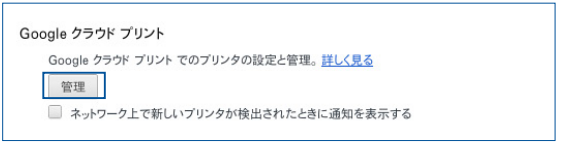
   重要: 次の手順に進む前に、プリンタがコンピューターにインストールされていることを確認してください。

2. インターネットにコンピューターを接続し、Google Chromeを開き、Google アカウント にログインします。

3. → 「**設定**」の順にクリックします。

4. 「**詳細設定を表示**」をクリックします。

5. 下方向でスクロールし「**Google クラウドプリント**」を表示し「**管理**」をクリックします。



6. 「**従来のプリンタ**」の下の「**プリンタを追加**」をクリックします

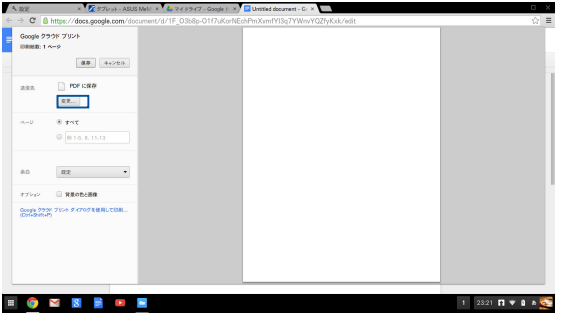
7. Googleアカウントでログインします。
8. 表示される画面で、Google クラウドプリントに接続したいプリンタをクリックし、「**プリンタを追加**」をクリックします。
9. Google クラウドプリントとプリンタのセットアップが完了すると、次のような画面が表示されます。

Google クラウドプリントで印刷する

Google クラウドプリントとプリンタを接続した後は、次の手順で本機からファイルを印刷することができます。

1. 印刷するファイルを開き ctrl + p を押します。

2. 「**送信先**」オプションで「**変更**」をクリックします。



3. 登録されたプリンタのリストから、使用するプリンタをクリックします。

4. 必要に応じて印刷オプションを設定し、「**印刷**」をクリックします。

ファイルを管理する

Chrome™ OSの「Google ドライブ」アプリと「ファイル」アプリで本機上のファイルの管理と保存が可能です。

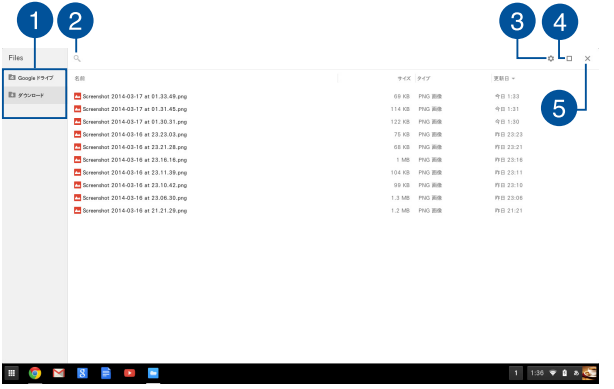
これらのアプリを使用すると、本機での作業中に文書や画像、オーディオ、ビデオなどの様々なファイルを保存し、編集することができます。また、Google ドライブのクラウドストレージを通じ、これらのファイルを保存しアクセスすることができます。

ファイル アプリ

ファイル アプリは、本機にダウンロードされたファイルとGoogle ドライブに保存されているファイルをすべて閲覧することができます。また、本機に接続されているすべての外付けストレージデバイスが表示されます。

アプリ ドライブを起動するには → をクリックします。

ファイル アプリ



1 ファイルの保存場所

この列には現在使用できるファイルの場所が表示されます。また、本機に接続されているすべての外付けストレージデバイスが表示されます。

2 検索

検索ボタンをクリックすると、検索ボックスが有効になります。検索ボックスを使用するには、検索したいファイル名を入力し enter を押します。

3 設定

このボタンをクリックすると、現在アクティブなファイルの場所の設定をカスタマイズすることができます。

4 最大化/最小化

ファイル アプリを最大化または最小化します。

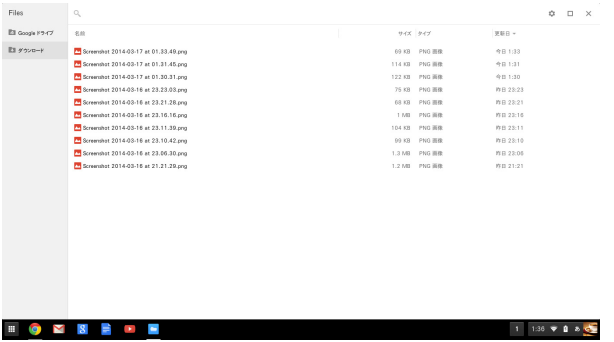
5 閉じる

このボタンをクリックすると、ファイル アプリが閉じます。

本機に保存されたファイルへのアクセス

ファイル アプリの「ダウンロード」フォルダーには、ダウンロード/保存されたファイルが保存されています。

これらのファイルにアクセスするには、「**ファイル**」アプリを起動し「**ダウンロード**」フォルダーを選択し、開きたいファイルをクリックします。



別のフォルダーにファイルを移動する

ファイル アプリから別の場所にファイルを移動したい場合は、以下の手順をご参照ください。

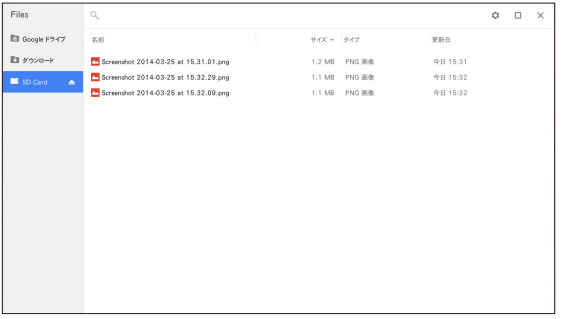
1. ファイルが現在保存されているファイルの場所を開きます。
2. 移動したいファイルを選択し、新しいファイルの場所にファイル（複数可）をドラッグ&ドロップします。

デバイスのマウント解除

お使いのデバイスが本機から安全に切断されていることを確認するには、以下の手順でファイル アプリからそれらのデバイスをマウント解除します。

1. → Files の順にクリックします。

2. マウント解除したいデバイスを選択し をクリックします。



3. マウント解除されたデバイスがファイルの場所に表示されなくなれば、デバイスを本機から取り外すことができます。

新しいフォルダーの作成

新しいフォルダーを作成したい場合は、次の手順をご参照ください。

1. ファイル アプリ画面で、新しいフォルダーを作成したい場所を選択します。

2. ctrl + e を押し、新しいフォルダーを作成します。

Google ドライブ

Google ドライブはクラウドストレージで、Googleアカウントでアクセスすることができます。スマートフォンやタブレットPC、他のノートパソコンなどのデバイス間で、ファイルの同期とファイルへのアクセスが可能です。

ファイル アプリを使用する、またはGoogle ドライブを起動することで、本機のGoogle ドライブにアクセスすることができます。

ファイル アプリからGoogle ドライブを起動する

ファイル アプリの下のGoogle ドライブを使用すると、現在Google ドライブに保存されているすべてのファイルを閲覧することができます。また、簡単にGoogle ドライブにダウンロードフォルダーからファイルを移動することができます。

手順

1. → の順にクリックします。

2. 「**Google ドライブ**」を選択し、保存されているすべてのファイルを以下のカテゴリーで表示することができます。

   - **マイドライブ:** 保存されたファイルを表示します。
   - **オフライン:** オフラインでアクセスが可能なファイルを表示します。
   - **共有アイテム:** 他のGoogleアカウントで共有されているファイルを表示します。
   - **最近使用したアイテム:** 最近開いたファイルを表示します。

Google ドライブにダウンロードしたファイルを移動する

デフォルト設定では、本機にダウンロードされたファイルは「ファイル アプリ」の「ダウンロード」に保存されます。次の手順でGoogle ドライブにダウンロードしたファイルを移動することができます。

1. → の順にクリックします。

2. 「**ダウンロード**」をクリックし、移動したいGoogleドキュメントやファイル、フォルダーを選択し、Google ドライブまでドラッグ＆ドロップします。

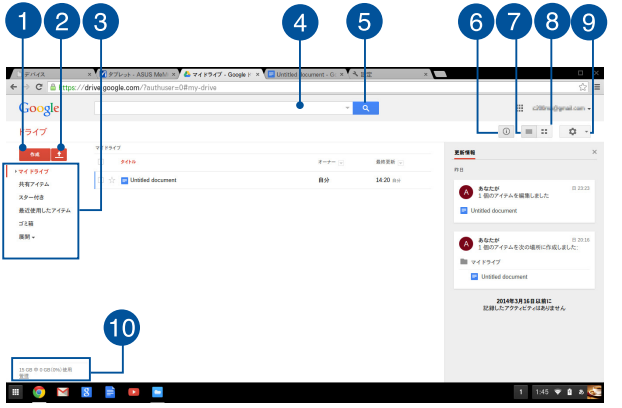
Google ドライブを起動する

Google ドライブアプリにアクセスすることにより、その設定をカスタマイズし最適化することができます。

> **重要:** Google ドライブを起動するときは、インターネットに接続されていることをご確認ください。

Google ドライブを起動するには、 → をクリックします。

Google ドライブ



1 作成

このオプションをクリックすると、ファイルが新規作成され自動的にGoogleドライブに保存されます。

2 アップロード

このオプションをクリックすると、Google ドライブに別の場所からファイルやフォルダをアップロードすることができます。

3 ファイルの保存場所

Google ドライブで現在使用できるファイルの場所が表示されます。

4 **検索ボックス**

Google ドライブ内でファイルやフォルダー、Googleドキュメントを検索します。検索語彙を入力し enter を押すか をクリックします。

5 **検索**

検索を開始するには、このボタンをクリックします。

6 **詳細とアクティビティ**

このオプションをクリックすると、Google ドライブアカウントの活動ログと「マイ ドライブ」のファイルの場所の詳細が表示されます。

7 **リストに切り替え**

このオプションをクリックすると、ファイルを再度リスト表示します。

8 **ギャラリー表示に切り替え**

このオプションをクリックすると、ファイルを再度グリッド表示します。

9 **設定**

このボタンをクリックすると、Googleドライブの設定をカスタマイズすることができます。

10 **管理**

このオプションをクリックすると、Google ドライブのストレージシステムを表示し、カスタマイズすることができます。

ノートパソコンのリセット

Chrome™ OS をデフォルト設定にリセットする必要がある場合は、Powerwashを使用します。

Powerwashを使用する

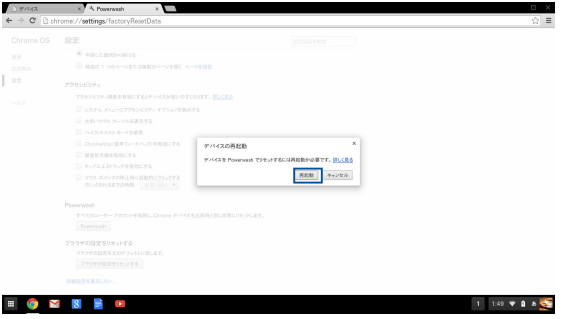
警告:

- このオプションを実行する前に全てのデータをバックアップしてください。
- Powerwashを使用すると、本機のローカルデータはすべて削除されます。ただし、Google ドライブアカウントとこれらのアカウントと同期しているデータは影響を受けません。

1. ステータス領域を起動し、「**設定**」を選択します
2. 下にスクロールし「**詳細設定を表示**」をクリックします。

3. 「**Powerwash**」をクリックします。

4. プロンプトが表示されたら、「**再起動**」をクリックします



5. 再起動後、注意コメントが表示されますので、そちらをご確認のうえ、Powerwashを実施します。

ノートパソコンの電源をオフにする

次のいずれかの手順で本機の電源をオフにすることができます。

Chrome™ OSを使用する

1. ステータス領域を起動します。
2. をクリックします。

本機の電源ボタンを使用する

システムが応答しなくなった場合、この方法で本機をオフにすることができます。

> **重要:** データの保存がされていない場合、そちらのデータの損失が発生することがあります。

本機の電源がオフになるまで、本機の電源ボタンを少なくとも4秒間を押してください。

ノートパソコンをスリープ状態にする

本機を操作しないままにしておくと、自動的にスリープ モードに移行します。スリープから復帰させるには、何かキーを押すか、マウスを操作します。

Chapter 4: FAQとヒント

安全に使用するためのヒント

大切なデータを守り、安全に快適にご使用いただくためのヒントを記載しました。本製品の使用方法に関する記載と併せてお読みください。

- 強制終了・停電:
  突然の電源断などによる機器の停止は問題を引き起こす可能性があります。使用中はバッテリーをできる限り装着し、機器の停止時も正しいシャットダウンをしましょう。
- バックアップ:
  本機が起動しないなど故障した際、大切なデータを取り出せなくなる可能性があります。定期的に外付けの記憶装置などへバックアップをお取りください。
- 環境温度:
  高温となる場所でのご使用は控えてください。長期間ノートパソコンを使用しない場合は、バッテリーを本体から取り外すことをお勧めします（着脱可能な場合）。
- 本機のリセット:
  リセットを行う際は周辺機器を周辺機器をすべて取り外し、次の項目がすべて揃っていることをご確認ください。
  - バックアップデータ
  - ログインIDとパスワード
  - インターネット接続に必要な情報
    不明点がある場合は、ネットワーク管理者もしくはプロバイダーにお問い合わせください。

ハードウェアに関するFAQ

1. 液晶ディスプレイに黒い点や、常時点灯(赤、青、緑)している点がある

製品の品質には万全を期していますが、液晶ディスプレイにはごくわずかですが不完全な表示(ドット抜け)が発生する場合があります。これらは製品の品質を損なうものではありませんが、ASUSの提供する保証サービスが適用される場合がございます。詳しくは、製品に同梱の保証書もしくはASUSコールセンターまでご連絡ください。

2. 液晶ディスプレイの色や明るさにむらがある

液晶ディスプレイの構造上、見る角度や環境により、明るさや色にむらが見える場合があります。また、液晶ディスプレイの明るさや色合いはモデルによって異なる場合があります。

3. バッテリー駆動時間を長くする方法

以下の方法を推奨します。

- 液晶ディスプレイの表示を暗くします。
- マウスやUSB機器など、使わない周辺機器は取り外します。
- 大きな負荷がかかるアプリの使用を避けます。

4. バッテリー状態表示ランプが点灯しない

- ACアダプターまたは充電されたバッテリーパック(特定モデルのみ)が正しく取り付けられているか確認してください。
- ACアダプターとバッテリーパック(取り外し可能なモデルのみ)を取り外し、1分以上待ってから再度入れて起動してください。
- それでも点灯しない場合は、コールセンターへご連絡ください。

5. スピーカーから音が出ない

- [🔊]を押し、音量の調節などお試しください。
- ご使用のアプリなどで、ミュート設定になっていないかご確認ください。
- ヘッドホン出力用のジャックに何か接続されていないかご確認ください。接続されている場合は、そちらを取り外してください。

6. 消耗品の購入、ACアダプターをなくした際などの対応方法

コールセンターへご連絡、もしくはASUS Shopをご確認ください。
ASUS Shop; http://shop.asus.co.jp/
※URLは予告なく変更する可能性があります。

7. キー入力中にカーソルが移動し、正しくキー入力ができない

お使いのモデルがタッチパッド搭載モデルの場合は、手のひらや洋服の袖などがタッチパッドに触れ、そのため、カーソル移動が発生している可能性があります。

ソフトウェアに関するFAQ

1. 電源インジケーターは点灯しているが、ドライブアクティビティインジケーターが点灯/点滅せず、本機が正常に起動しない

- 電源ボタンを4秒以上長押しし、電源を切り、ACアダプターとバッテリーパック(特定モデルのみ)が正しく取り付けられているか確認のうえ、再度、電源を入れてください。
- それでも起動しない場合は、コールセンターへご連絡ください。

2. 「Chrome OS is missing or damaged. Please insert a recovery USB stick or SD card」が表示される

- 以下サイトをご確認のうえChromeの復元をお試しください。
  http://google.com/chromeos/recovery
  ※URLは予告なく変更されるがあります。

3. 本機が起動しない

- 接続してUSBデバイスなどをすべて取り外して、電源を入れてください。
- それでも起動しない場合は、コールセンターへご連絡ください。

4. スリープ状態

- バッテリー残量が少なくなっている、もしくは、完全に放電している可能性があります。ACアダプターを接続し電源ボタンを押してください。
- 一旦、電源ボタンを4秒以上長押しし、機器を強制終了後、電源ボタンを押し、起動してください。なお、保存していないデータは失われます。

Chapter 5: 付録

内蔵モデムの適応規格（規格/プロトコルなど原文掲載）

The Notebook PC with internal modem model complies with JATE (Japan), FCC (US, Canada, Korea, Taiwan), and CTR21. The internal modem has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point. In the event of problems you should contact your equipment supplier in the first instance.

Overview

On 4th August 1998 the European Council Decision regarding the CTR 21 has been published in the Official Journal of the EC. The CTR 21 applies to all non voice terminal equipment with DTMF-dialling which is intended to be connected to the analogue PSTN (Public Switched Telephone Network).

CTR 21 (Common Technical Regulation) for the attachment requirements for connection to the analogue public switched telephone networks of terminal equipment (excluding terminal equipment supporting the voice telephony justified case service) in which network addressing, if provided, is by means of dual tone multi-frequency signalling.

Network Compatibility Declaration

Statement to be made by the manufacturer to the Notified Body and the vendor: "This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties."

Statement to be made by the manufacturer to the user: "This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties. The manufacturer shall also associate a statement to make it clear where network compatibility is dependent on physical and software switch settings. It will also advise the user to contact the vendor if it is desired to use the equipment on another network."

Up to now the Notified Body of CETECOM issued several pan-European approvals using CTR 21. The results are Europe's first modems which do not require regulatory approvals in each individual European country.

Non-Voice Equipment

Answering machines and loud-speaking telephones can be eligible as well as modems, fax machines, auto-dialers and alarm systems. Equipment in which the end-to-end quality of speech is controlled by regulations (e.g. handset telephones and in some countries also cordless telephones) is excluded.

This table shows the countries currently under the CTR21 standard.

Country	Applied	More Testing
Austria[1]	Yes	No
Belgium	Yes	No
Czech Republic	No	Not Applicable
Denmark[1]	Yes	Yes
Finland	Yes	No
France	Yes	No
Germany	Yes	No
Greece	Yes	No
Hungary	No	Not Applicable
Iceland	Yes	No
Ireland	Yes	No
Italy	Still Pending	Still Pending
Israel	No	No
Lichtenstein	Yes	No
Luxemburg	Yes	No
The Netherlands[1]	Yes	Yes
Norway	Yes	No
Poland	No	Not Applicable
Portugal	No	Not Applicable
Spain	No	Not Applicable
Sweden	Yes	No
Switzerland	Yes	No
United Kingdom	Yes	No

This information was copied from CETECOM and is supplied without liability. For updates to this table, you may visit http://www.cetecom.de/technologies/ctr_21.html

1 National requirements will apply only if the equipment may use pulse dialling (manufacturers may state in the user guide that the equipment is only intended to support DTMF signalling, which would make any additional testing superfluous).

In The Netherlands additional testing is required for series connection and caller ID facilities.

Federal Communications Commission Interference Statement

This device complies with FCC Rules Part 15. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.

- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING! The use of a shielded-type power cord is required in order to meet FCC emission limits and to prevent interference to the nearby radio and television reception. It is essential that only the supplied power cord be used. Use only shielded cables to connect I/O devices to this equipment. You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void your authority to operate the equipment.

(Reprinted from the Code of Federal Regulations #47, part 15.193, 1993. Washington DC: Office of the Federal Register, National Archives and Records Administration, U.S. Government Printing Office.)

FCC Radio Frequency (RF) Exposure Caution Statement

WARNING! Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment. "The manufacture declares that this device is limited to Channels 1 through 11 in the 2.4GHz frequency by specified firmware controlled in the USA."

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with FCC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.

Declaration of Conformity (R&TTE directive 1999/5/EC)

The following items were completed and are considered relevant and sufficient:

- Essential requirements as in [Article 3]
- Protection requirements for health and safety as in [Article 3.1a]
- Testing for electric safety according to [EN 60950]
- Protection requirements for electromagnetic compatibility in [Article 3.1b]
- Testing for electromagnetic compatibility in [EN 301 489-1] & [EN 301 489-17]
- Effective use of the radio spectrum as in [Article 3.2]
- Radio test suites according to [EN 300 328-2]

CE Marking

CE

CE marking for devices without wireless LAN/Bluetooth

The shipped version of this device complies with the requirements of the EEC directives 2004/108/EC "Electromagnetic compatibility" and 2006/95/EC "Low voltage directive".

CE

CE marking for devices with wireless LAN/ Bluetooth

This equipment complies with the requirements of Directive 1999/5/EC of the European Parliament and Commission from 9 March, 1999 governing Radio and Telecommunications Equipment and mutual recognition of conformity.

IC Radiation Exposure Statement for Canada

This equipment complies with IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with IC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.

Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause interference and
- This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

To prevent radio interference to the licensed service (i.e. co-channel Mobile Satellite systems) this device is intended to be operated indoors and away from windows to provide maximum shielding. Equipment (or its transmit antenna) that is installed outdoors is subject to licensing.

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s).

Déclaration d'Industrie Canada relative à l' exposition aux ondes radio

Cet appareil est conforme aux limites d'exposition aux radiations d' Industrie Canada définies pour un environnement non-contrôlé. Pour maintenir la conformité avec les exigences d'exposition RF d'IC, veuillez éviter tout contact direct avec l'antenne pendant l'émission. Les utilisateurs finaux doivent suivre les instructions de fonctionnement spécifiques pour satisfaire la conformité aux expositions RF.

Son utilisation est sujette aux deux conditions suivantes :

- Cet appareil ne peut pas causer d'interférence, et
- Cet appareil doit accepter toute interférence, y compris les interférences qui pourraient causer un fonctionnement non souhaité de l'appareil.

Pour éviter les interférences radio avec le service sous licence (c'est à-dire le partage de canal avec les systèmes de téléphonie satellite), cet appareil est destiné à être utilisé en intérieur et loin des fenêtres pour fournir un blindage maximal. Tout appareil (ou son antenne d'émission) qui est installé en extérieur est sujet à cette licence.

Le present appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.

N. America	2.412-2.462 GHz	Ch01 through CH11
Japan	2.412-2.484 GHz	Ch01 through Ch14
Europe ETSI	2.412-2.472 GHz	Ch01 through Ch13

France Restricted Wireless Frequency Bands

Some areas of France have a restricted frequency band. The worst case maximum authorized power indoors are:

- 10mW for the entire 2.4 GHz band (2400 MHz–2483.5 MHz)
- 100mW for frequencies between 2446.5 MHz and 2483.5 MHz

NOTE: Channels 10 through 13 inclusive operate in the band 2446.6 MHz to 2483.5 MHz.

There are few possibilities for outdoor use: on private property or on the private property of public persons, use is subject to a preliminary authorization procedure by the Ministry of Defense, with maximum authorized power of 100mW in the 2446.5–2483.5 MHz band. Use outdoors on public property is not permitted.

In the departments listed below, for the entire 2.4 GHz band:

- Maximum authorized power indoors is 100mW
- Maximum authorized power outdoors is 10mW

Departments in which the use of the 2400–2483.5 MHz band is permitted with an EIRP of less than 100mW indoors and less than 10mW outdoors:

01 Ain	02 Aisne	03 Allier
05 Hautes Alpes	08 Ardennes	09 Ariège
11 Aude	12 Aveyron	16 Charente
24 Dordogne	25 Doubs	26 Drôme
32 Gers	36 Indre	37 Indre et Loire
41 Loir et Cher	45 Loiret	50 Manche
55 Meuse	58 Nièvre	59 Nord
60 Oise	61 Orne	63 Puy du Dôme
64 Pyrénées Atlantique	66 Pyrénées Orientales	67 Bas Rhin
68 Haut Rhin	70 Haute Saône	71 Saône et Loire
75 Paris	82 Tarn et Garonne	84 Vaucluse
88 Vosges	89 Yonne	90 Territoire de Belfort
94 Val de Marne		

This requirement is likely to change over time, allowing you to use your wireless LAN card in more areas within France. Please check with ART for the latest information (www.arcep.fr)

NOTE: Your WLAN Card transmits less than 100mW, but more than 10mW.

UL Safety Notices

Required for UL 1459 covering telecommunications (telephone) equipment intended to be electrically connected to a telecommunication network that has an operating voltage to ground that does not exceed 200V peak, 300V peak-to-peak, and 105V rms, and installed or used in accordance with the National Electrical Code (NFPA 70).

When using the Notebook PC modem, basic safety precautions should always be followed to reduce the risk of fire, electric shock, and injury to persons, including the following:

- DO NOT use the Notebook PC near water, for example, near a bath tub, wash bowl, kitchen sink or laundry tub, in a wet basement or near a swimming pool.
- DO NOT use the Notebook PC during an electrical storm. There may be a remote risk of electric shock from lightning.
- DO NOT use the Notebook PC in the vicinity of a gas leak.

Required for UL 1642 covering primary (nonrechargeable) and secondary (rechargeable) lithium batteries for use as power sources in products. These batteries contain metallic lithium, or a lithium alloy, or a lithium ion, and may consist of a single electrochemical cell or two or more cells connected in series, parallel, or both, that convert chemical energy into electrical energy by an irreversible or reversible chemical reaction.

- Do not dispose the Notebook PC battery pack in a fire, as they may explode. Check with local codes for possible special disposal instructions to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion.
- Do not use power adapters or batteries from other devices to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion. Use only UL certified power adapters or batteries supplied by the manufacturer or authorized retailers.

Power Safety Requirement

Products with electrical current ratings up to 6A and weighing more than 3Kg must use approved power cords greater than or equal to: H05VV-F, 3G, 0.75mm^2 or H05VV-F, 2G, 0.75mm^2.

TV Notices

Note to CATV System Installer—Cable distribution system should be grounded (earthed) in accordance with ANSI/NFPA 70, the National Electrical Code (NEC), in particular Section 820.93, Grounding of Outer Conductive Shield of a Coaxial Cable – installation should include bonding the screen of the coaxial cable to the earth at the building entrance.

REACH

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorization, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we publish the chemical substances in our products at ASUS REACH website at http://csr.asus.com/english/REACH.htm.

Macrovision Corporation Product Notice

This product incorporates copyright protection technology that is protected by method claims of certain U.S.A. patents and other intellectual property rights owned by Macrovision Corporation and other rights owners. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision Corporation, and is intended for home and other limited viewing uses only *unless otherwise authorized by Macrovision Corporation*. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

日本国内での無線周波数帯のご利用について

電波法により5.2/5.3GHz帯は屋内使用に限ります。

聴覚障害を防ぐため

イヤホンやヘッドホンからの過度な音圧は、難聴などの聴覚障害の原因となる場合があります。ボリュームコントロールやイコライザーを基準値以外に設定した場合、イヤホンやヘッドホンの出力電圧が増加し音圧が高くなることがあります。ご注意ください。

筐体のコーティングについて

重要: 感電などを防ぐため、本機は絶縁性のあるコーティング材を使用しています（入出力ポート搭載部分を除く）。

Nordic Lithium Cautions (for lithium-ion batteries)

CAUTION! Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. Dispose of used batteries according to the manufacturer's instructions. (English)

ATTENZIONE! Rischio di esplosione della batteria se sostituita in modo errato. Sostituire la batteria con un una di tipo uguale o equivalente consigliata dalla fabbrica. Non disperdere le batterie nell'ambiente. (Italian)

VORSICHT! Explosionsgefahr bei unsachgemäßen Austausch der Batterie. Ersatz nur durch denselben oder einem vom Hersteller empfohlenem ähnlichen Typ. Entsorgung gebrauchter Batterien nach Angaben des Herstellers. (German)

ADVARSELI! Lithiumbatteri - Eksplosionsfare ved fejlagtig håndtering. Udskiftning må kun ske med batteri af samme fabrikat og type. Levér det brugte batteri tilbage til leverandøren. (Danish)

VARNING! Explosionsfara vid felaktigt batteribyte. Använd samma batterityp eller en ekvivalent typ som rekommenderas av apparattillverkaren. Kassera använt batteri enligt fabrikantens instruktion. (Swedish)

VAROITUS! Paristo voi räjähtää, jos se on virheellisesti asennettu. Vaihda paristo ainoastaan laitevalmistajan sousittelemaan tyyppiin. Hävitä käytetty paristo valmistagan ohjeiden mukaisesti. (Finnish)

ATTENTION! Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du mêre type ou d' un type équivalent recommandé par le constructeur. Mettre au rebut les batteries usagées conformément aux instructions du fabricant. (French)

ADVARSEL! Eksplosjonsfare ved feilaktig skifte av batteri. Benytt samme batteritype eller en tilsvarende type anbefalt av apparatfabrikanten. Brukte batterier kasseres i henhold til fabrikantens instruksjoner. (Norwegian)

注意: バッテリーの交換は正しく行ってください。破裂する危険があります。交換の際は、メーカーが指定したバッテリーをお使いください。また、廃棄の際は家庭ゴミとまとめて捨てずに、最寄の廃棄物処理施設等に問い合わせ、バッテリーの処分方法を確認してください。(Japanese)

ВНИМАНИЕ! При замене аккумулятора на аккумулятор иного типа возможно его возгорание. Утилизируйте аккумулятор в соответствии с инструкциями производителя. (Russian)

CTR 21 Approval (for Notebook PC with built-in Modem)

Danish

»Udstyret er i henhold til Rådets beslutning 98/482/EF EU-godkendt til at blive opkoblet på de offentlige telefonnet som enkeltforbundet terminal. På grund af forskelle mellem de offentlige telefonnet i de forskellige lande giver godkendelsen dog ikke i sig selv ubetinget garanti for, at udstyret kan fungere korrekt på samtlige nettermineringspunkter på de offentlige telefonnet.

I tilfælde af problemer bør De i første omgang henvende Dem til leverandøren af udstyret.«

Dutch

„Dit apparaat is goedgekeurd volgens Beschikking 98/482/EG van de Raad voor de pan-Europese aansluiting van enkelvoudige eindapparatuur op het openbare geschakelde telefoonnetwerk (PSTN). Gezien de verschillen tussen de individuele PSTN's in de verschillende landen, biedt deze goedkeuring op zichzelf geen onvoorwaardelijke garantie voor een succesvolle werking op elk PSTN-netwerkaansluitpunt.

Neem bij problemen in eerste instantie contact op met de leverancier van het apparaat.".

English

'The equipment has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.'

Finnish

"Tämä laite on hyväksytty neuvoston päätöksen 98/482/EY mukaisesti liitettäväksi yksittäisenä laitteena yleiseen kytkentäiseen puhelinverkkoon (PSTN) EU:n jäsenvaltioissa. Eri maiden yleisten kytkentäisten puhelinverkkojen välillä on kuitenkin eroja, joten hyväksyntä ei sellaisenaan takaa häiriötöntä toimintaa kaikkien yleisten kytkentäisten puhelinverkkojen liityntäpisteissä.

Ongelmien ilmetessä ottakaa viipymättä yhteyttä laitteen toimittajaan."

French

«Cet équipement a reçu l'agrément, conformément à la décision 98/482/CE du Conseil, concernant la connexion paneuropéenne de terminal unique aux réseaux téléphoniques publics commutés (RTPC). Toutefois, comme il existe des différences d'un pays à l'autre entre les RTPC, l'agrément en soi ne constitue pas une garantie absolue de fonctionnement optimal à chaque point de terminaison du réseau RTPC.

En cas de problème, vous devez contacter en premier lieu votre fournisseur.»

German

„Dieses Gerät wurde gemäß der Entscheidung 98/482/EG des Rates europaweit zur Anschaltung als einzelne Endeinrichtung an das öffentliche Fernsprechnetz zugelassen. Aufgrund der zwischen den öffentlichen Fernsprechnetzen verschiedener Staaten bestehenden Unterschiede stellt diese Zulassung an sich jedoch keine unbedingte Gewähr für einen erfolgreichen Betrieb des Geräts an jedem Netzabschlußpunkt dar.

Falls beim Betrieb Probleme auftreten, sollten Sie sich zunächst an ihren Fachhändler wenden."

Greek

«Ο εξοπλισμός έχει εγκριθεί για πανευρωπαϊκή σύνδεση μεμονωμένου τερματικού με το δημόσιο τηλεφωνικό δίκτυο μεταγωγής (PSTN), σύμφωνα με την απόφαση 98/482/ΕΚ του Συμβουλίου· ωστόσο, επειδή υπάρχουν διαφορές μεταξύ των επιμέρους PSTN που παρέχονται σε διάφορες χώρες, η έγκριση δεν παρέχει αφ' εαυτής ανεπιφύλακτη εξασφάλιση επιτυχούς λειτουργίας σε κάθε σημείο απόληξης του δικτύου PSTN.

Εάν ανακύψουν προβλήματα, θα πρέπει κατ' αρχάς να απευθύνεστε στον προμηθευτή του εξοπλισμού σας.»

Italian

«La presente apparecchiatura terminale è stata approvata in conformità della decisione 98/482/CE del Consiglio per la connessione paneuropea come terminale singolo ad una rete analogica PSTN. A causa delle differenze tra le reti dei differenti paesi, l'approvazione non garantisce però di per sé il funzionamento corretto in tutti i punti di terminazione di rete PSTN.

In caso di problemi contattare in primo luogo il fornitore del prodotto.»

Portuguese

«Este equipamento foi aprovado para ligação pan-europeia de um único terminal à rede telefónica pública comutada (RTPC) nos termos da Decisão 98/482/CE. No entanto, devido às diferenças existentes entre as RTPC dos diversos países, a aprovação não garante incondicionalmente, por si só, um funcionamento correcto em todos os pontos terminais da rede da RTPC.

Em caso de problemas, deve entrar-se em contacto, em primeiro lugar, com o fornecedor do equipamento.»

Spanish

«Este equipo ha sido homologado de conformidad con la Decisión 98/482/CE del Consejo para la conexión paneuropea de un terminal simple a la red telefónica pública conmutada (RTPC). No obstante, a la vista de las diferencias que existen entre las RTPC que se ofrecen en diferentes países, la homologación no constituye por sí sola una garantía incondicional de funcionamiento satisfactorio en todos los puntos de terminación de la red de una RTPC.

En caso de surgir algún problema, procede ponerse en contacto en primer lugar con el proveedor del equipo.».

Japanese

本装置は、第二種情報装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。

しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に、近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。本書の説明にしたがって正しい取り扱いをしてください。

本製品を日本で使用する場合は必ず日本国モードでご使用ください。他国のモードをご使用になると電気通信事業法 (技術基準) に違反す行為となります。なお、ご購入時は初期値が日本国モードとなっておりますので、そのままご利用ください。

ENERGY STAR complied product

ENERGY STAR is a joint program of the U.S. Environmental Protection Agency and the U.S. Department of Energy helping us all save money and protect the environment through energy efficient products and practices.

All ASUS products with the ENERGY STAR logo comply with the ENERGY STAR standard, and the power management feature is enabled by default. The monitor and computer are automatically set to sleep after 10 and 30 minutes of user inactivity. To wake your computer, click the mouse or press any key on the keyboard. Please visit http://www.energy.gov/powermanagement for detail information on power management and its benefits to the environment. In addition, please visit http://www.energystar.gov for detail information on the ENERGY STAR joint program.

NOTE: Energy Star is NOT supported on FreeDOS and Linux-based operating systems.

This Notebook PC has been awarded the EU Flower label, which means that this product has the following characteristics:

1. Decreased energy consumption during use and stand-by modes.
2. Limited use of toxic heavy metals.
3. Limited use of substances harmful to the environment and health.
4. Reduction of the use of natural resources by encouraging recycling.
5. Designed for easy upgrades and longer lifetime through providing compatible spare parts such as batteries, power supplies, the keyboard, the memory, and if available the CD drive or DVD drive.
6. Reduced solid waste through takeback policy.

For more information on the EU Flower label, please visit the European Union Eco-label website at http://www.ecolabel.eu.

Optical Drive Safety Information

Laser Safety Information

CD-ROM Drive Safety Warning

CLASS 1 LASER PRODUCT

WARNING! To prevent exposure to the optical drive's laser, do not attempt to disassemble or repair the optical drive by yourself. For your safety, contact a professional technician for assistance.

Service warning label

WARNING! INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. DO NOT STARE INTO BEAM OR VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL INSTRUMENTS.

CDRH Regulations

The Center for Devices and Radiological Health (CDRH) of the U.S. Food and Drug Administration implemented regulations for laser products on August 2, 1976. These regulations apply to laser products manufactured from August 1, 1976. Compliance is mandatory for products marketed in the United States.

WARNING! Use of controls or adjustments or performance of procedures other than those specified herein or in the laser product installation guide may result in hazardous radiation exposure.

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートパソコン等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉砕され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

電気・電子機器に含有される化学物質の表示について

資源有効利用促進法では、JIS C 0950: 2008（J-Moss）の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Moss とは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関するJIS規格の略称で、正式名称は「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content（電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法）」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されています。

この規格に関する詳細情報はASUSのサイト（http://green.asus.com/english/）に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content（電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法）」をご参照ください。

Rechargeable Battery Recycling Service in North America

For US and Canada customers, you can call 1-800-822-8837 (toll-free) for recycling information of your ASUS products' rechargeable batteries.

Regional notice for Singapore

This ASUS product complies with IDA Standards.

Regional notice for India

This product complies with the "India E-waste (Management and Handling) Rule 2011" and prohibits use of lead, mercury, hexavalent chromium, polybrominated biphenyls(PBBs) and polybrominated diphenyl ethers (PBDEs) in concentrations exceeding 0.1 % by weight in homogenous materials and 0.01 % by weight in homogenous materials for cadmium, except for the exemptions listed in Schedule-II of the Rule.

Notices for removeable batteries

- Risk of explosion if battery is replaced by an incorrect type.
- The battery and its component must be recycled or disposed of properly.

Avis concernant les batteries remplaçables

- La batterie de l'ordinateur portable peut présenter un risque d' incendie ou de brûlure si celle-ci est retirée ou désassemblée.
- La batterie et ses composants doivent être recyclés de façon appropriée.